

平成22年度「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

1 部門 「林業事業体による森づくり」部門

2 賞 林野庁長官賞

3 受賞者 東白川村森林組合

住所 岐阜県加茂郡東白川村越原 46-1

電話 0574-78-2009 FAX 0574-78-2594

HP <http://www.50913.ne.jp/hinoki/>

4 概要

FSC 森林認証による持続的な森林経営と、低コスト間伐の取り組みにより H16 年度コンクールにおいて林野庁長官賞を受賞。現在は地域全体を 6 団地に区分し、団地ごとに森林組合職員、森林技術員を配置し、施業プランの提案などを実践している。路網開設にも積極的に取組み、現在の路網密度は 60 m/ha まで増加した。また、チップから柱材まで価格を取り決め工場へ直送するシステム販売により輸送コストの縮減を図っている。

5 受賞者の声

山づくりは、こだわりの理念の継続と人と人のつながりが最も重要です。いわゆる人づくりです。長い間には、林業意欲は大きく変化したものの、先人からの優良材生産を目指す理念は受け継がれました。これは、平等を基本として地域のまとまりを大事にする取組みを行ってきた成果と考えています。そして、今回の名誉ある表彰を励みとして、更に、FSC 森林認証の理念を加え、価値観の高い東濃桧の連鎖の拡大に努めたいと思います。

平成22年度 東白川村地域ぐるみ森林整備事業計画（集約化実施計画）
（期間：自 平成22年4月 至 平成23年3月）



平成22年度「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

- 1 部門 「林業事業体による森づくり」部門
- 2 賞 間伐推進中央協議会会長賞
- 3 受賞者 株式会社 とされいほく
住所 高知県長岡郡大豊町川口 2042 番地 16
電話 0887-72-1230 FAX 0887-72-0331
HP <http://tosareihoku.co.jp/>

4 概要

H型架線集材を特徴とした架線系等による利用間伐の取組により、H19年度コンクールにおいて間伐推進中央協議会会長賞を受賞。利用間伐を積極的に行い、H21年度の利用間伐が9割を超えるなど、急峻な地形にも有効な架線系集材を確立し、一定の生産性を確保する事業体として全国から視察を受けるなど、他の地域・事業体への架線技術の継承にも寄与している。

5 受賞者の声

確固たる経営理念のもとH型架線集材をメインとした搬出システムや人材育成など、これまでの当社の取り組みにつつまして、高く評価していただきましたことは、日々過酷な現場作業で奮闘している現場社員にとりましても大いに励みとなりました。架線系集材は、日本の林業にとって未来永劫必要不可欠な搬出システムであると確信しておりますので、なお一層の架線集材技術の研鑽に努めてまいりたいと考えています。



平成22年度「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

1 部門 「森林ボランティア団体等による森づくり」部門

2 賞 林野庁長官賞

3 受賞者 特定非営利活動法人 土佐の森・救援隊
住所 高知県吾川郡いの町天王北 4-6-4
電話 0889-22-5299 FAX 0889-22-5399
HP <http://mori100s.exblog.jp/>

4 概要

簡易作業道の作設による搬出間伐等により H18 年度コンクールにおいて間伐推進中央協議会会長賞を受賞。年間活動日数 200 日と活発な活動が続け、ベテラン班長を配置し指導を行うなど安全対策にも配慮している。また、A～C 材を搬出・販売することにより、資源をあますところなく活用し、特に、平成 19 年度より木質バイオマス利用に向けた林地残材の搬出に取り組み、多くの視察を受けるなど、全国のモデルとなっている。

5 受賞者の声

当 NPO は、極少とはなったが地域に残る小規模な林業や自伐林業を見直し、農山村の副産物型産業として、この小規模林業を今一度地域に再生させることを目標に活動してきました。困難な取組と認識していましたが、成果も出始め、特に木質バイオマスのための未利用間伐材や林地残材の収集運搬システムを地域ぐるみで構築することができ、全国にも広がり始めています。こうした取組を起動に乗せ始めたことを評価いただき感謝する次第です。



平成22年度「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

1 部門 「森林ボランティア団体等による森づくり」部門

2 賞 間伐推進中央協議会会長賞

3 受賞者 NPO 法人 こぴすくらぶ
住所 千葉県船橋市咲が丘 2-43-12
電話 047-447-0550 FAX 047-447-0550
HP <http://coppice.main.jp/>

4 概要

森林所有者との受委託契約に基づく森林施業計画の樹立、施業の実施によりH21年度コンクールにおいて林野庁長官賞を受賞。受託した森林・竹林の整備を行い、間伐材はシイタケ原木や薪、防護柵などに活用している。受賞後は各地で事例発表を行うなど、他の団体との連携も進展。市民が中心となって地域の森を整備・管理することも可能であるという好事例となっている。

5 受賞者の声

会員皆で考え話し合い進めてきた、手入れ不足の暗くて危険な里山を間伐し光が差し込む森にするという取り組みが、全国的な森林ボランティア活動の中で改めて評価されたことは、会員の大きな励みとなります。昨年の受賞により、新規会員も増える状況にありますが、森の整備という長いスパンで捉えなければならない課題を、着実に継続し後世に託して行くことがどんなに重要か改めて実感しています。



平成22年度「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

- 1 部門 「森林ボランティア団体等による森づくり」部門
- 2 賞 全国林業改良普及協会会長賞
- 3 受賞者 みどりのまちづくりグループ 癒しの森づくりの会
住所 愛知県春日井市廻間町 681-112
電話 0568-88-4167 FAX 0568-88-4167
HP <http://www.ps-kaigi.net/midori/midoritop.html>

4 概要

県との活動協定による県有林「みろくの森」の森林整備の成果によりH20年度コンクールにおいて全国林業改良普及協会会長賞を受賞。搬出した間伐材を活用し、ベンチ等を作成して公園に設置している。クラフトづくりなどのイベント実施や間伐体験、県内外からの要請に応える間伐支援隊の結成など、地域住民を巻き込み、活動が広がっている。

5 受賞者の声

「間伐は緑を育てる深呼吸」「間伐材は森の恵み」を合言葉に、荒廃した森（スギ、ヒノキの人工林、雑木林、竹林）の間伐を行い、その間伐材が有効に利活用できることを広く知って貰うために「間伐材利活用まつり」を実施しています。そして、間伐で森が甦り、多くの人達が間伐材の有難さ、素晴らしさを知り、木や竹に一層愛着を持って貰うよう頑張っています。また、間伐材の新しい用途開拓として、ヒノキの間伐材でナメコ、ヒラタケの生産・研究を行っています。



平成22年度「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

- 1 部門 「暮らしに役立つ間伐材利用」部門
- 2 賞 林野庁長官賞
- 3 受賞者 光葉スチール株式会社
住所 (本社) 長野県長野市篠ノ井布施高田 71-1
(八幡工場) 長野県千曲市八幡 4601-1
電話 026-274-0800 FAX 026-274-0810
HP <http://www.koyo-steel.co.jp/index.html>

4 概要

扉・天板等に地元長野県産カラマツ間伐材を使用したロッカーにより、H20年度コンクールにおいて全国森林組合連合会会長賞を受賞。受賞後は、さまざまな形式寸法のロッカーをカタログ・Webに掲載し、販路の拡大に努め実績を伸ばしている。製材・部材加工を県内の他社工場に委託するなど地域の活性化にも寄与。茨城県産間伐材で作成し茨城県内に納入するなどの取り組みも実施している。

5 受賞者の声

スチールオフィス家具の製造メーカーが、なぜカラマツなのかとよく聞かれます。なぜなら、私共は8年程前から地方の山国にある企業メリットを何とか生かせないかと考え、選択したのがカラマツ間伐材でした。そして、長野県産カラマツ間伐材でオリジナル製品の開発・商品化を、木工関連外注の協力で継続して行ってきました。これからも森林資源の有効活用のために、全国に向けて情報発信と販売を続けたいと思います。



平成22年度「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

- 1 部門 「暮らしに役立つ間伐材利用」部門
- 2 賞 間伐推進中央協議会会長賞
- 3 受賞者 特定非営利活動法人 樹恩ネットワーク
(全国大学生生活共同組合連合会)
住所 東京都杉並区和田 3-30 大学生協会館
電話 03-5307-1102 FAX 03-5307-1091
HP <http://juon.univcoop.or.jp/index.html>

4 概要

大学生協食堂で使用される間伐材割箸の製作・普及によりH13年度コンクールにおいて間伐推進中央協議会会長賞を受賞。受賞後は福祉施設と連携した製造工場が7つに増え、障害者等の雇用の場の提供という一面も担っているほか、利用についても全国48大学生協の93店舗から65大学生協205店舗に拡大している。取組を進めるうちに「間伐材割箸」という言葉が一般化するなど、身近なところでの間伐材利用の普及に寄与している。

5 受賞者の声

1998年から始めた国産間伐材製「樹恩割り箸」の取組みは、前回受賞時の2001年には、徳島の社会福祉法人池田博愛会セルプ箸蔵で年間500万膳程度の製造でした。しかし、2010年現在、福島、茨城、群馬、埼玉、東京、広島を加えた全国7ヶ所の知的障害者施設での製造にまで広がり、1000万膳以上を供給しています。今後も割り箸を通じて、日本の森林・林業・山村についての理解を広げていきたいと思えます。



平成22年度「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

- 1 部門 「暮らしに役立つ間伐材利用」部門
- 2 賞 全国木材組合連合会会長賞
- 3 受賞者 株式会社 イーエムシー
住所 長野県長野市北条町3番14
電話 026-256-9170 FAX 026-256-9171
HP <http://www.eco-materials.com/>

4 概要

主に土木資材として公共工事で使用される多目的木製枠体「ティーキューブ」によりH14年度コンクールにおいて全国林業改良普及協会会長賞を受賞。土留工や河川の木製沈床工、階段工など多様な活用実績があり、H13年度270基の作設からH21年度は2,400基と増大しており、事業地での地元間伐材の活用にも寄与している。

5 受賞者の声

過去10回の受賞者の中から近年の取り組み等評価して頂き受賞できた事に本当に光栄に思います。公共工事分野（土木治山等）の中で間伐製品の利用を始めて10年、間伐材利用を推奨し、製品開発を行ってきました弊社にとりまして、本当に喜ばしい事と思います。また今後も皆様の御尽力、ご協力を頂きながら、これを機により一層公共工事分野での間伐材利用促進を進めて行きたいと思っております。



平成22年度「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

- 1 部門 「暮らしに役立つ間伐材利用」部門
- 2 賞 審査員奨励賞
- 3 受賞者 合同会社 もくもく絵本研究所
住所 岩手県遠野市中央通り10-4
電話 090-7793-9025 FAX 0198-62-0855
HP <http://www.mokumokuehon.com/>

4 概要

間伐材に民話を印刷した木の絵本「おはなし木っこ」によりH18年度コンクールにおいて審査員奨励賞を受賞。受賞後は合同会社を設立し、英語やハンガール語、ポルトガル語バージョンも製作するなど活動の範囲も広がっている。木の絵本の開発・販売を通じて、木の良さを子供たちに知ってもらい「木育」を民話のふるさと遠野から発信している。

5 受賞者の声

全国的に山の保全が叫ばれている現在、まずは、未来を担う子供たちに、間伐材を利用した木の絵本をつくり、木の良さを伝えたい、民話の里遠野らしく、木でお話文化も伝えたいという熱い思いから私達の木の絵本が出来ました。商品化した平成18年度に受賞し、今回も審査員奨励賞を戴くことになり、極小規模の私達にとって、大きな大きな励みとなりました。今後も間伐材利用促進と木育の観点から木の絵本をつくり続けたいと思います。

